

オンライン講座

「多文化共生」を考える研修会 2021

兵庫県には、156か国、約11万5千人の外国人県民が住んでおり、さまざまな場面で接する機会が増えています。文化や言語、生活習慣、歴史的背景の違いを認め合い、互いに尊重し合う多文化社会の実現をめざし、今回で21回目を迎える「『多文化共生』を考える研修会」を下記内容で開催します。多文化共生の魅力や課題など、見て、聞いて、一緒に考えましょう。

第1回 11月4日(木)

【「日本人」と「外国人」の境界】

13:30~13:35 主催者あいさつ

13:35~15:00 「外国人を作り出した戦後」

ばく さ ら
朴 沙 羅 (ヘルシンキ大学文学部文化学科講師)

1984年京都生まれ。2020年2月よりヘルシンキ大学文学部文化学科講師。専門は社会学(ナショナリズム、移民研究)。著書に『外国人をつくりだす:戦後日本における「密航」と入国管理制度の運用』(ナカニシヤ出版, 2017年)、『家の歴史を書く』(筑摩書房, 2018年)。

15:15~16:45

『日本人』とはだれか〜『ハーフ』の経験から考える〜

下地 ローレンス吉孝(ハワイ大学研究員)

1987年生まれ。専門は社会学・国際社会学。8月よりハワイ大学に研究員として所属。著書『「混血」と「日本人」ーハーフ・ダブル・ミックスの社会史』(青土社, 2018年)、『「ハーフ」ってなんだろう? あなたと考えたいイメージと現実』(平凡社, 2021年)。「ハーフ」や海外ルーツの人々の情報共有サイト「HAFU TALK」を共同運営。

第2回 11月7日(日)

【外国にルーツを持つ子どもの教育】

13:30~15:00 「にほんでいきる〜外国からきた子どもたち〜」

奥山 はるな(毎日新聞取材班)

15:15~16:45 「外国ルーツの子どもと家族にかかわって」

小林 普子(NPO法人みんなのおうち代表理事)

第3回 11月11日(木)

【外国人との共生に向けての課題】

13:30~15:00 「ヘイトスピーチと対抗報道」

角南 圭祐(共同通信ヘイト問題取材班・広島支局次長)

15:15~16:45 「出入国管理及び難民認定法(入管法)改正を

めぐる問題点」

指宿 昭一(暁法律事務所 弁護士)

第4回 11月14日(日)

【移住者の困難と支える活動】

13:30~15:00 「困窮するベトナム人への支援と課題」

吉水 慈豊(NPO法人日越ともいき支援会代表理事)

15:15~16:15 「ミャンマーの今と難民を生み出す背景」

中西 嘉宏(京都大学大学院東南アジア研究所准教授)

16:15~16:45 「留学生支援、ミャンマー関西の取組み」

猶原 信男(ミャンマー関西代表)

【参加費】 無料 【申込締切】 10月22日(金)

【申込方法】 <https://forms.gle/CP5mUCMtzLe3tfhu7> か QRコードにアクセスして、お申し込みください。

【開催方法】

オンライン Zoom を用いて行います。3日前までに、Zoom の招待状を送らせていただきます。

【申込・問い合わせ先】

NPO法人 神戸定住外国人支援センター (KFC)
TEL:078-612-2402 E-mail:kensyu2021@social-b.net

1回だけでも
参加できます

各回定員60名

